

母親からの手記（一部抜粋）

1 レーザー活性化治療で女児誕生

T・Sさん 37歳（神奈川県）

私の不妊期間は2年間で、人工授精9回、体外受精を1回経験しています。4年前には筋腫の手術を受け、お腹にはその時の大きな傷あとが残っています。

日頃から運動不足のせいか、首や肩にこりを感じることが多く、夏場でも靴下をはかないと眠れないほどの冷え性で、便秘にも悩まされていました。

結婚後、いつまで経っても子どもができる気配がないため、不妊症ではないかと不安になり、産婦人科を受診しました。その産婦人科では、自然妊娠を希望するのはとても難しく、人工授精を20回～30回行っても無理ではないかといわれました。いきなり体外受精を勧められ、なるべく自然な形での妊娠を考えていた私たち夫婦にとって、人工授精での妊娠も難しいという言葉は、とてもショックでした。

・・・（中略）・・・

今までの私は、人工授精や体外受精を何回行っても成功せず、その度に落ち込んでいました。しかし、レーザー活性化治療で体調が良くなったのをきっかけに、気持も明るく前向きになり、気分転換に2人で旅行をしてきました。すると年が明けたら、なんと自然妊娠していました。主治医に無理だといわれてあきらめていた自然妊娠でした。夫婦そろって大変喜び、命を与えてくれた神様に感謝いたしました。

妊娠中の経過も良く、無事に女の子が誕生しました。今まで寂しかった家の中がとても温かく明るくなり、とても幸せな毎日を過ごしております。子どもの成長もとても楽しみです。レーザー活性化治療に心より感謝しております。

4レーザー活性化治療と体外受精 IVF で男児誕生

K・Mさん 42歳（茨城県）

私は結婚してすぐに子どもがほしかったのですが、なかなかできず、婦人科を受診し検査を行ったところ、子宮内膜症であることが分かりました。その治療と同時に体外授精を3回行いましたが、妊娠しませんでした。

そんな時婦人科の先生から「レーザーで体の循環を良くして体調を整える治療があり、それをやってみたら？」と言われました。先生の勧めもあり、主人と相談した結果、レーザー活性化治療を行うことにしました。

・・・（中略）・・・

合計で16回のレーザー治療を受け、体外授精にのぞんだところ、卵の数も増え、質も良くなっていました。期待と不安でいっぱいの長い2週間が過ぎ、とうとう判定日になりました。検査を行ったところ「妊娠していますよ！」と先生に言われ、頭の中が真っ白になりました。ひょっとしたら妊娠しているのかとも期待していましたが、現実となったのです。仕事を終え家に帰ってきた主人に報告したら、「よくやった」とほめてくれました。長い間の念願がかない、幸せいっぱいのスイートホームになりました。

その後順調にお腹の赤ちゃんも大きくなり、胎動を感じることで母になることを実感しました。時々主人はお腹に手を当てて、「赤ちゃんの心臓が動いているよ」と喜んでいました。そして、無事に男の子を出産することができました。今では家族が1人増え、にぎやかな毎日を過ごしております。